

●ふ乞を記附御旨見るた見を(供子と人婦)は節の文注御●

序

生先了圓上井
生先子歌田下

士博學文學
學習部
院長

生先郎次哲上井
生先郎次勇良元

士博學文學
士博學文學

編 生 先 治 懇 山 西

畫插繪口版色三の樂開庭家の伯畫折不村中
摺紙等上來舶頁餘十六百七數紙本美る頗入函裝洋形判六四

賣發版再切賣忽版初評好大
錢五十稅郵 錢十三圓一價正

者購幸に此の好書を逸せず購讀の榮を賜はんことを
に注意者本有之購求者は似の編者

庭順

就等にて

家庭組織
結婚制度
道交禮式
國際德宗
家衛宗

懸切苟くも事
に配列し説明

家庭に必要な事

粹を抜きて千餘項

に關し細大漏

忠實なる選五十五音

たるを期せり即ち本書を家庭必備の寶典として一

般の家庭に獻じ進物殊に結婚出産の贈物として薦

學生諸君の備品として推す

視する勿れ
本書の内容は

行經
料行經濟
理事濟
污洗裁
點拔縫
生養園

花畜藝
遊音茶
戲樂道
交工藝
通育品

擇し

さす以て

選五十五音

を注意の二

然に社會の要求する時代急需の聲に應ぜんとて世に出
づる家庭向の著書取て渺きにあらず渺からずと雖も惜
むべし一時的際物の零片を充たさる即ち編者此に周到
家庭は此れに依て光明に浴し新しき福音に接するもの

日本家庭辭書

前付の二



發行所
弘道館
東京電
京語本
局二八四〇

好評噴々たる遊戯書

廣島高等師範學校教師吉田信太先生作曲
廣島高等師範學校教師原藤藏先生作詞

(好評七版發賣)
○近刊本書と類似の者刊行
有之購求者は著者名と發行者名の注意を乞ふ玉石
混淆する勿れ

國定唱歌遊戲教授書

洋裝菊版
色クロース
無類の美本

尋常科の部 全一冊 正價金八拾錢 郵稅拾錢

高等科の部 全一冊 正價金八拾錢 郵稅拾錢

▲讀め 唱歌遊戲教授に新光明を發する教育家は
▲讀め 訓育上、體育上、効果を顯するの教育家は
▲讀め 戰後に於る勇健の國民を養成する教育家は

尋常科第五版第六版購求者に票告す

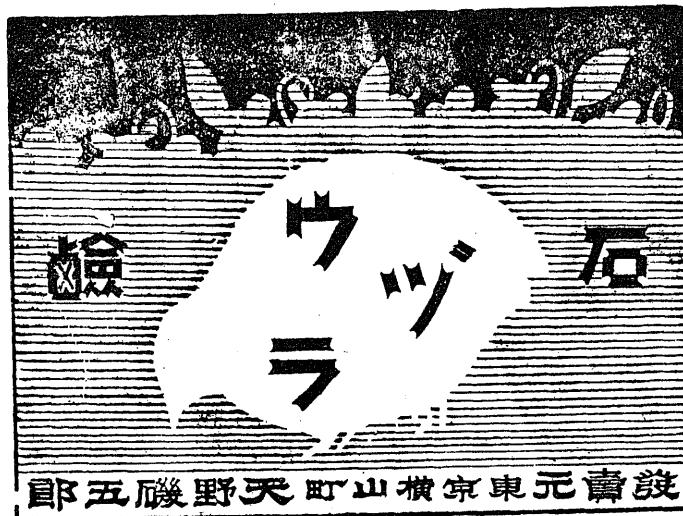
曩に發行せし第五版第六版は弊館印刷所三協合資會社に印刷せしめ既に賣
切の處其後該兩版の内間々間違あるを發見致候に付右訂正之爲先般來著
者に乞ふて精密なる修正を遂げ今般修正第七版を發行仕候に就て
は右第五版第六版御購求せられし方は御郵送被下候はゞ早速
可申此段稟告仕候也

東京電話二八四〇番
大橋局 南八番
一町工場

發行所 弘道館

●ふ乞を記附御旨るた見を(供子と人婦)は節の文注御●

質品るな良純



香の麝るな良香

日本女子大學校教授松浦政泰先生著 ▲紙數二百頁 ▲總ふりがな付

(刊新) 女子修養叢書

娘と妻と母

菊判全一冊
總クロース
裝釘最美麗
定期六拾錢
郵稅不要

著者一千年の實驗を基礎とし
藝と業とを説く
の學問體操遊戲修養題職業問
婚男女交際問題
勤婦僕使子女教育法惡兒矯正法隱居問題
寡婦娘家有する者勿論父兄たる者必ず一讀
○發兌元 本町 東京 金港堂式會社 ○ 大阪市東區 金港堂支店

經濟的家庭染料

◎ 特色 着色堅牢、色澤鮮廉、染法簡易、價格低廉。

定 價

(二反用)

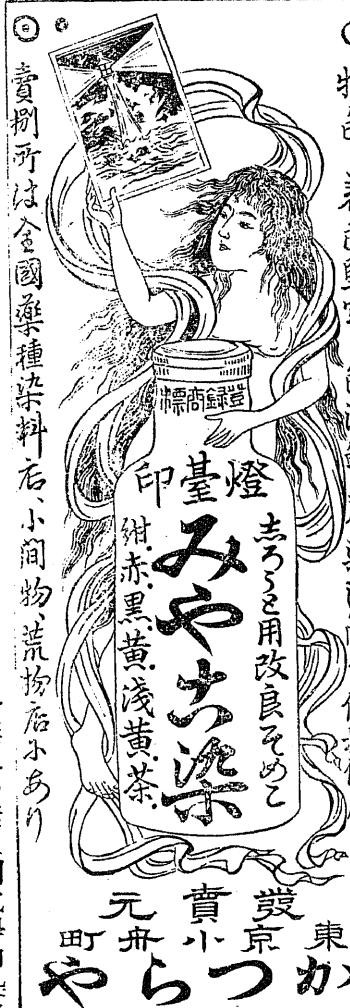
大 壤 拾 壱 錢

(半反用)

小 壤 六 錢

賣 手

元 舟 町 ら



賣捌所は全國種染料店、小間物、流物店小あり。

みやこ染
は専門技師が多年苦心の結果發明せし完全無二の素人用化學的染料にして、絹綿毛麻其他に染色自在なり
みやこ染
は着色堅牢にして何回洗濯するも決して變色褪色等の憂なく、又染粉の爲に地質を損する事なし
みやこ染
は染法簡易にして何人にも即時容易に染め得られ且手及器物を汚す事なし
みやこ染
は体裁優美なる壻入にて永久貯えるも變質の憂更になし
みやこ染
は價格低廉にして普通染質の半額だも要せず
みやこ染
は以上の特色を備ふるが故に江湖の家庭に愛用せらる

みやこ染發賣元

東京市日本橋區小舟町一丁目

青 山 染 料 商 店

電話浪花 二九五八番
郵便振替貯金口座三九五番

▲からだよわき人例へば性來虛弱にて瘦せ細り或ひは病後の衰弱。老衰。貧血症。神經衰弱。心臓病。動悸。息切れ。肺病。婦人血の道。殊に産後の経過不良症。其他氣力減乏症。平素身體薄弱

良薬の味美き易し用服



の爲め病に罹り易き人。過度に身體或は精神を費す人等は此「大木五臟圓」を服用して見給へ

▲**藥價** 卅五日分二圓、十五日分一圓 七日分
五十錢、四日分三十錢、二日分十五錢 ▶

本舗 東京兩國米澤町 **大木口哲本店**
發賣 東京神田鍛冶町 **大木合名會社**

◎全國藥店にあり大木五臟圓に注目を乞ふ

文學士 北澤定吉先生著

◎再版



洋装菊判
總クロース美本
正價金七拾錢
郵稅金八錢
全册一

神祕説に同情を有してしかも知識を輕視せず、基督其人を教仰して、しかも基督教徒たらず、專心哲學を究めて宇宙の繼を解かんと欲す、かかる立脚地にある著者が、銳き批評眼もて四編學書を精讀し、『人としての基督は如何なる儀表を與ふるか』てふ趣味ある問題を究めて、新しき解釋を基督其人に與へしあ本書なり。基督の人格を中心として、基督教の倫理を説き、實踐道法を論ず。議論正大文章優雅、讀まば正さに基督を地下に起してこれと語るの感あるべし。先づ己自らを修養し、身を以て弟子を率ひんとする教師諸君は、本書に於て好指導を發見すべし。

發行所

東京市京橋區南大工町一番地

弘道館

(電話本局二八四〇番)